

千葉工業大学「総合科学特論(寄付講座)」開講一覧(2022年度)

1. 基本計画

開講科目名 (単位数)	開講概要	学年・学期	曜日・時限	特別講師 人数	履修人数	科目責任者
総合科学特論 [日興リサーチセンター(株)寄付講座] (証券の基礎と資産運用入門) (2単位)	日興リサーチセンター株式会社による寄付講座 [目的] 金融・経済に関する教育の促進及び知識普及を図る。 [授業概要] 経済大国「日本」の根幹である金融・経済構造の基礎的知識や株式・債券の仕組みをグループワーク・シミュレーションから学び、これから社会で働くために知っておくべき知識や工学と経済の関係性、技術のビジネス転換などを考える。	3・4年次 前期	木曜日 7・8限	1名	120名程度	2022年度 教務委員長
総合科学特論 [日本弁理士会寄付講座] (テーマ:実践で使える知的財産権) (2単位)	日本弁理士会による寄付講座 [目的] 工科系技術者や研究者には必須となる知的財産権に関する教育の促進及び知識普及を図る。 [授業概要] 将来、優れた技術者や研究者として活躍するためには、専門領域に関する知識や技術だけでなく、特許権、実用新案権、意匠権、商標権などの知的財産権に関する基礎知識を身に付けることが必要になる。この授業では、それら知的財産権について学び、実践的に活かす力を身に付ける。	3・4年次 後期	木曜日 6・7限	3名	120名程度	2022年度 教務委員長
総合科学特論 [Panasonic寄付講座] (テーマ:モノづくりとイノベーション) (2単位)	パナソニック(株) アプライアンス社と千葉工業大学未来ロボット技術研究センター(fuRo)による寄附講座 [目的] 製造業に関する教育の促進及び知識普及を図る。 [授業概要] 日本の家電メーカーを代表して、パナソニックの企業活動全般の取組みを紹介し、モノづくりの仕組みを学ぶ。また、家電メーカーとしてあまり知られていないロボット開発の事例や、イノベーションを起こす活動を紹介し、これからの日本の製造業の可能性やあるべき姿を考える。	総合科学特論 3・4年生 後期 ※ライブ配信形式	木曜日 7・8限	13名	1000名まで	2022年度 教務委員長